

對露非干涉同志會趣旨

勞農ロシア共和國は既に五個年に亘れる歴史的存在である。我々がそれを好むと好まざるとに關せず、彼は現にヨーロッパ、アジアの二大陸に跨つて、儼然として其の特殊なる政治生活及び經濟生活を發展せしめてゐる。彼を破壊し、彼を封鎖し、彼を無視しようとした總ての努力は、皆な明かに不成功に歸してゐる。全世界の經濟生活は、自己の重要な大部分を排除する間、到底の健全を維持する事が出来ないものである。列國の資本主義とロシアの共產主義との間に於ける、其の消長盛衰は姑く別問題として、兎にかく、ロシアが經濟上に於いて痛切に列國の援助を必要とする其の同じ程度に於いて、列國も亦た實にロシアの豊富なる伏能的資源に依頼せざるを得ないのである。ゼノア、ヘーグ等の諸會議は、即ち其の必至の勢ひに迫られた結果である。要するに列國は既に事實上に於いてロシアを承認したのである。故に我々は更に一步を進めて、此の眼前の事實をヨリ明白にし、ヨリ確實にする爲、從つて全人類の窮迫を緩和し、其の福利を増進する爲、日本全國に於ける多數の同志の力を集中し、『對露非干涉』をモットーとして、敢て左の三事項の遂行實現を計らうとするものである。

- 一、ロシアに駐屯せる日本兵の即時撤退
- 一、ロシアに對する通商貿易の開始
- 一、ロシアの飢饉に對する救濟金品の贈與

對露非干涉同志會發起人

一九二二年六月

稻村隆一	大西俊夫
平野學	高野純三
赤松克麿	高橋正男
坂口義治	三輪壽壯
小助川	凱

裏面を見よ!!

表記の趣旨に賛成の方は左記宛御申込みください。

住所

姓名

東京市外高田町二二番地、三和方

對露非干涉同志會假事務所御中